



義務づけられている状況



すべての小型船舶の乗船者

ライフジャケットを着てほしい状況



ヨット

船長は船に乗るもの全員に常に着用させましょう。海中転落した場合の生存率が大きく高まります。



釣り

ボート、磯場、ウェーディングと場面に合ったものを選びましょう。釣りは転倒による事故が多いです。



川遊び

子どもの場合、海よりも川での事故が多いです。親は子どもから目を離さないようにしましょう。



牽引遊具

バナナボートは、ライフジャケットを着ることはもちろん、前後の人と頭をぶつけないよう注意しましょう。



ウェイクボード・水上スキー

転倒して、気絶する可能性もあります。ネオプレン素材は肌触りもよく、フィット感も高いです。



カヌー

ツーリングや、激流下りなど自分の目的に合ったものを選びましょう。



リバーSUP

水に落ちる可能性も高く、川は海よりも浮力が得られません。SUP用の動きやすいライフジャケットもあります。



海水浴

離岸流に巻き込まれたり、砂浜が急に深くなる危険があります。浮き輪と違い、外れる心配がありません。



犬の水遊び

犬用ライフジャケットは、水中の犬をコントロールしたり、犬が長時間泳ぐのを補助することができます。



参考：^{リがなりゅう}離岸流に乗ってしまったら 海水浴も危険がひそんでいる！

離岸流とは、岸から沖へ流れる、海水の流れのことです。ときに、とても強い流れになるため、いったんこの流れに乗ってしまうと、逆らって泳ぐことはとても難しいです。

1 まずは落ちつく

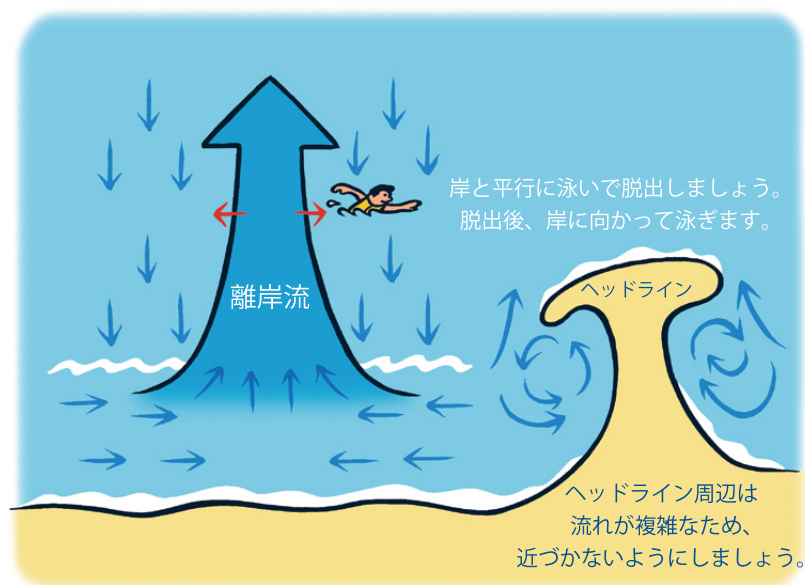
決して流れに逆らって泳がないことが大切です。

2 岸と平行に泳ぐ

離岸流の幅は10～30mのため、**真横**に泳いで脱出しましょう。

3 離岸流から脱出してから、岸に向かって泳ぐ

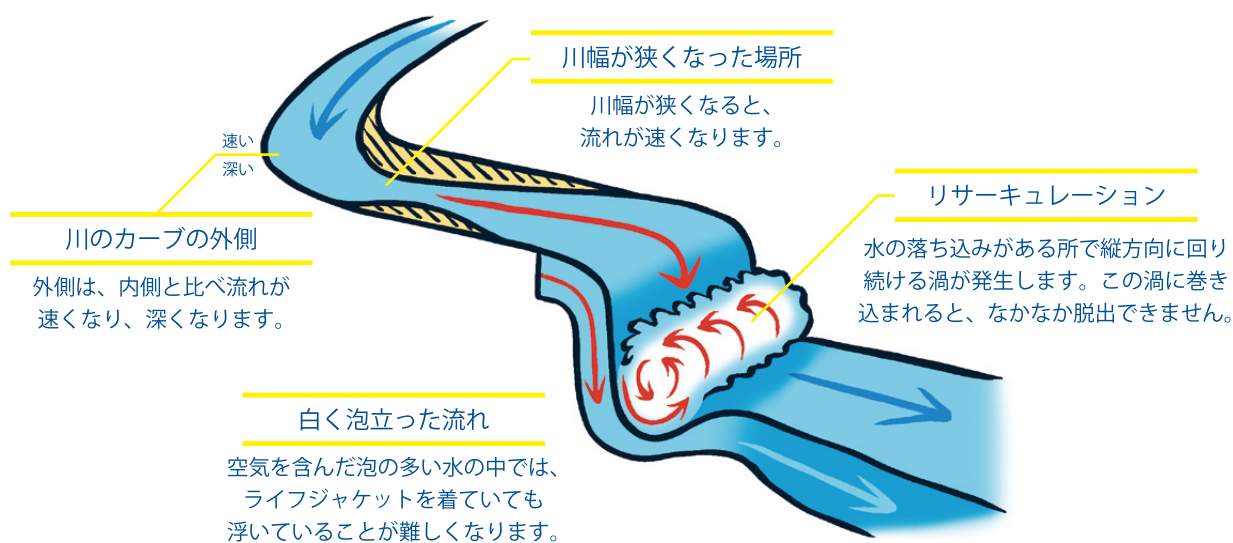
泳ぎが得意でない人は、あわてず落ちついて、流れが弱くなるまで浮いて待って、救助を待ちましょう。





参考：川の危険な場所を見分けよう

川は独特な水の流れや障害物があり、安全に川で遊ぶためにはその特徴を知ることが大切です。流れが速い場所や、深い場所、危ない場所では遊ばないようにしましょう。穏やかな流れの場所でも十分注意しましょう。



参考：川遊びにおすすめのスタイル

